

編集部 滑稽俳句を始められたきっかけは？

堀川 一年ほど前に、職場でお世話になって

いる生花の先生が熱心に勧めてくださり、俳句を詠むようになりました。その先生が滑稽俳句をつくっておられましたので、自然に始める事になりました。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

堀川 日頃の失敗が作品になるところです。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

堀川 「文芸」と「生活」の「つなぎ」のようなものではないかと思います。

編集部 滑稽俳句を始めて良かった事は？

堀川 知らなかったことを知ることができたことです。「春落葉」という季語を教えていただいた後、春落葉を見ました。何十年も見ていたのに、見えていなかったのですね。季語、言葉を知ったことによって、これまで見ていた景色が変わりました。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

堀川 まだ探しているところです。

【代表句】

師走てふジョギングほどの忙しさ
通気性良しと言ひ換へ隙間風
刈り終えた途端解雇の案山子かな
まだ中に何かありそう枇杷の種
睡眠の負債返済寝正月